

第426号 2017年6月1日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

青森家庭少年問題研究会2017年度第1回学習会「子どもの貧困と居場所づくり」のお知らせ

青森家庭少年問題研究会では、地域未来創生センターとの共催で、「子どもの貧困と居場所づくり」に関する学習会を開催します。

第1部は、子どもの貧困問題に関する青森県内のいくつかの活動報告を行い、続く第2部では、滋賀県大津市や大阪府高槻市を中心に、子どもの居場所づくり、子どもを中心としたまちづくりを展開している幸重忠孝氏（幸重社会福祉士事務所代表）をお招きし、その具体的な活動内容を紹介していただきます。

興味のある方は、是非ご参加ください。

1. 日 時 : 2017年 6月 10日 (土) 15:00~18:00
2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部校舎4階多目的ホール
3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも
※事前申し込みは不要です。参加料等も必要ありません。
4. 内 容 : 第1部 青森県内の取り組み報告
第2部 講演「子どもの貧困と居場所づくり」
講師: 幸重忠孝 (ゆきしげ・ただたか) 氏
(幸重社会福祉士事務所 (滋賀県大津市) 代表)

5. 主 催 : 青森家庭少年問題研究会
共 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電 話 : 0172-39-3199
E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp



第20回 (2017年度) 日本環境共生学会地域シンポジウムのお知らせ

開催日: 2017年6月17日 (土)

開催場所: 弘前大学農学生命科学部 (青森県弘前市文京町 3)

日程: 12:40~14:00 ポスター発表 (農学生命科学部 433 講義室)

15:00～17:00 地域シンポジウム（農学生命科学部 402 講義室）

テーマ：自然の恵みに感謝する豊かな食と農づくり
～りんごを活かしたまちづくり～

座長：石塚哉史（弘前大学農学生命科学部）
成田拓未（弘前大学農学生命科学部）

解題：成田拓未（弘前大学農学生命科学部）

報告1：弘前市役所担当者
「シードルを含めたりんご関連施策」（仮題）

報告2：高橋哲史（株式会社百姓堂本舗代表取締役）
「シードル製造の実践報告」

ディスカッション

17:30～19:00 地域交流会（弘前大学生生活協同組合食堂スコーラム）

参加費：無料，ただし地域交流会参加者は4,000円（一般），1,500円（学生）

詳細：<http://jahes.jp/gakujutsusympo/no20chiikisympo/>

問い合わせ先：実行委員会事務局 成田 拓未（弘前大学農学生命科学部）
電話&FAX 0172-39-3622
mail:tnarita@hirosaki-u.ac.jp

第20回（2017年度）日本理化学会農学地域シンポジウム（第一報）

日 程：2017年6月17日（土）

会 場：弘前大学農学生命科学部（青森県弘前市文京町3）

参加費：無料（エクスカーション1,000円＋昼食代1,500円）
地区交流費4,000円（一般）1,500円（学生）

プログラム	時間	行事	会場
1.0:10～12:30	エクスカーション（緑葉 遊歩）	もりや公園、弘前-ドックビル	
1.2:40～14:00	ポスター発表	農学生命科学部棟4.3 or 2.0.3	
1.3:00～14:00	開会式	農学生命科学部棟4.0.1	
1.4:00～14:20	演説	農学生命科学部棟4.0.1	
1.4:20～14:30	学芸員発表	農学生命科学部棟4.0.1	
1.5:00～17:00	地域シンポジウム	農学生命科学部棟4.0.2	
1.7:30～19:00	地域交流会	弘前大学生食堂スコーラム	

● 地域シンポジウム（6月17日）15:00～17:00 弘前大学農学生命科学部・402

テーマ：自然の恵みに感謝する豊かな食と農づくり～りんごを活かしたまちづくり～

座長 石塚哉史（弘前大学農学生命科学部棟402）・成田拓未（502）

解題 成田拓未

報告 ① 弘前市役所 「りんごを含めたりんご関連施策」

② 高橋哲史（株式会社百姓堂本舗代表取締役） 「シードル製造の実践報告」

ディスカッション



**平成29年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ**

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分りやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

- 【日 時】 ● 第3回トレーナーズトレーニング
平成29年7月8日（土），9日（日）
● 第7回トレーナーズトレーニング
平成29年10月21日（土），22日（日）

【場 所】弘前大学大学院保健学研究科
（青森県弘前市本町66番地1）

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」

【対 象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も受講できます。（先着20名）
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

平成29年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」

**看護職の原子力・放射線教育のための
トレーナーズトレーニング**

第3回トレーナーズトレーニング

7月8日（土） 12:00～17:00（演習）
7月9日（日） 9:00～13:00（演習）

第7回トレーナーズトレーニング

10月21日（土） 12:00～17:00（演習）
10月22日（日） 9:00～13:00（演習）

主催 弘前大学大学院保健学研究科（放射線教育推進センター）

対象 主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も受講できます。

参加人数 20名（先着）

受講料 無料（演習に必要となる材料費は別途）
日本アイソトープ協会（JITA）
伊豆山先生に謝意を述べさせていただきます。

申込方法 Web申込登録 <http://www.jritas.or.jp/>

主催：公益社団法人日本アイソトープ協会
編集：弘前大学大学院保健学研究科

〒030-8685 青森県弘前市本町66番地1
TEL 0172-39-3622 E-mail gaku@hirosaki-u.ac.jp



【スケジュール】 1日目：13時00分～17時30分

≪講義≫①放射線利用における看護職の役割

②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎

③放射線による健康影響とリスク

※1日目終了後に参加者と指導者による情報交換会を予定しております。

2日目：9時00分～13時00分

≪実習≫①自然放射線の理解

放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察

②外部被ばくに対する防護方策

放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）

③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策

撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】 無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。

【申込方法】 Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主催】 公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】 弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 E-mail：kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp

平成29年度 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期・後期課程 大学院進学ガイダンスのお知らせ

保健学研究科では、第1期：8月26日（土）、第2期：1月20日（土）に博士前期課程（定員30名）及び博士後期課程（定員12名）の選抜試験を行う予定です。

この度、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、保健学研究科博士前期課程・後期課程の教育内容や学習環境について紹介する大学院進学ガイダンスを下記の日程で企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日時：平成29年 6月28日（水） 18：00～19：10

2. 会場：弘前会場・弘前大学大学院保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1
八戸会場・弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1階）

※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。

3. プログラム

(1) 開会にあたって

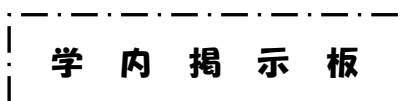
保健学研究科長 木田 和幸

- (2) 「大学院進学で得たもの、目指すもの」
放射線技術科学領域
博士前期課程2年 白戸 佑貴
- (3) 「博士号を目指して」
総合リハビリテーション科学領域
博士後期課程2年 石川 大瑛
- (4) 大学院で学ぶことの意味
国立大学法人 弘前大学
理事（研究担当） 郡 千寿子 先生
- (5) 募集要項について
保健学研究科学事委員 廣田 淳一
- (6) 質疑応答

4. 参加申込みについて

参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）・領域（看護学・放射線技術科学・生体検査科学・総合リハビリテーション科学）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、6月16日（金）までに下記問い合わせ先にお申込みください。

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科学務グループ
電話：0172-39-5470
FAX：0172-39-5912
E-mail：jm5913@hirosaki-u.ac.jp



学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】

平成29年 6月 2日（金）・15日（木）15：00～17：00

【実施】

平成29年 6月22日（木）15：00～17：00

※6月は1回のみの実施に変更となります。

問い合わせ先：

弘前大学総務部総務広報課（秘書室）

TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第43号」では、「特集 寄付と国立大学」において、本学・弘前市・弘前商工会議所の三者で設立した「学都ひろさき未来基金」が紹介されています。ぜひご覧ください。

(本学関連記事掲載) 「国立大学第43号」

<http://www.janu.jp/report/koho/43gou.html>

最新号「国立大学第44号」

<http://www.janu.jp/report/koho/44gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029